

◆ 今週のコメント

- ・ A型肝炎の報告が1例(男性, 30歳代)あります。症状は, 全身倦怠感・発熱・食欲不振・黄疸・肝腫大・肝機能異常です。推定感染地域は国外(大韓民国)で, 推定感染経路は経口感染です。本年の累積報告数は2例となっています。
なお, 全国において, A型肝炎の報告数が, 平成19年以降150例前後で推移してきましたが, 本年は, 第9週までに102例となっていますので, 今後の動向に注意が必要です。
- ・ 梅毒(無症候(無症状病原体保有者))の報告が1例(男性, 30歳代)あります。推定感染地域は国内で, 推定感染経路は性的接触(同性間)です。本年の累積報告数は4例となっています。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は, 18.51(1,259例)で, 京都市, 全国ともに前週より減少していますが, いずれも過去5年平均値を上回っています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 四類: A型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類: 梅毒(無症候(無症状病原体保有者)) 1例【1月以降の累積報告数 4例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	18.51	1,259
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.68	233
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.85	35
	③ 水痘	0.32	13
	④ 突発性発しん	0.29	12
	⑤ RSウイルス感染症	0.15	6
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

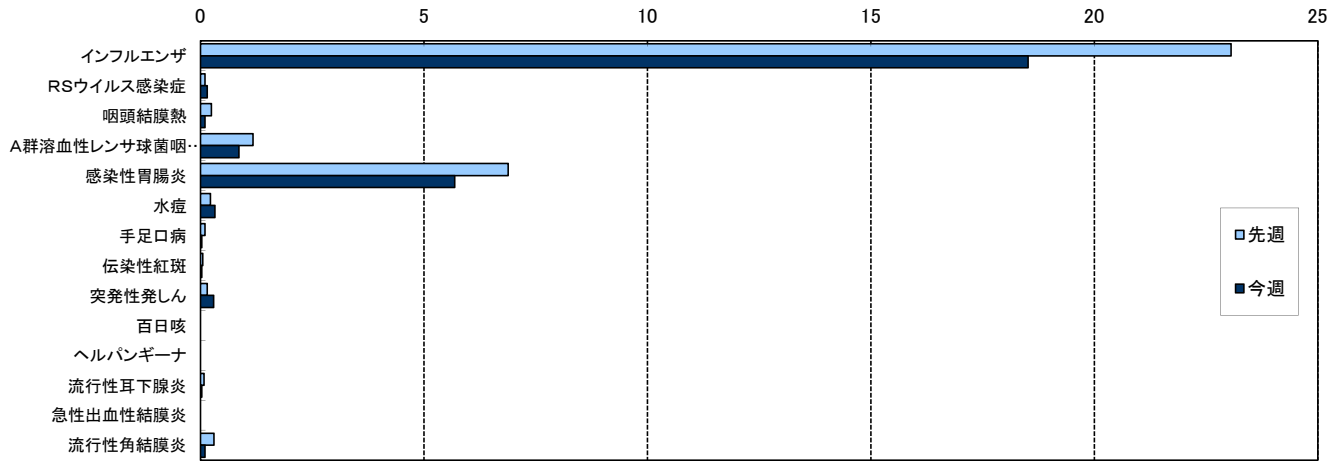
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

(注) 京都市のデータは, 平成26年3月13日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

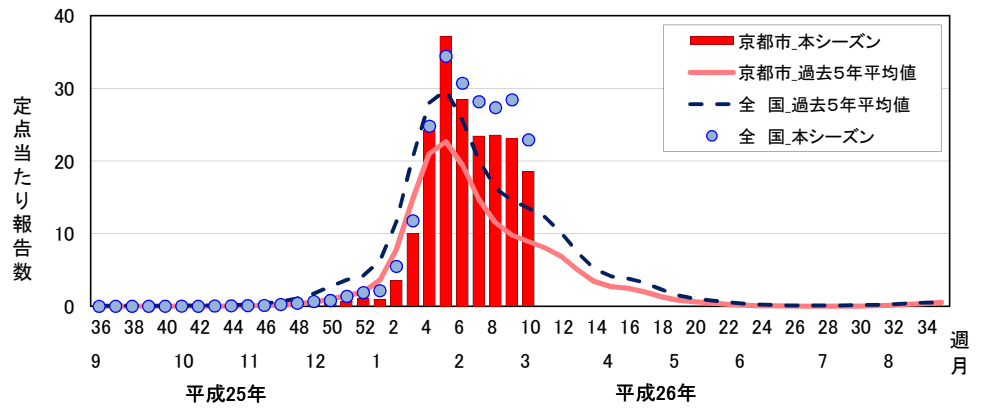
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第10週)と先週(第9週)の定点当たり報告数の比較



2 インフルエンザの推移

週	報告数(例)
第6週	1,938
第7週	1,594
第8週	1,603
第9週	1,568
第10週	1,259
累積報告数 (第36週以降)	13,342

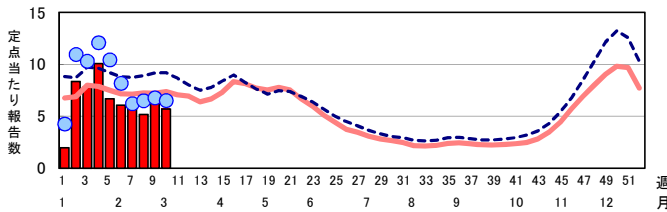


※平成21年/22年シーズンは、例年と流行傾向が大きく異なるため、過去5年平均値の算出には使用していません。

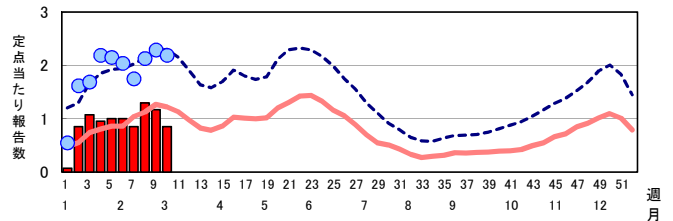
3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>

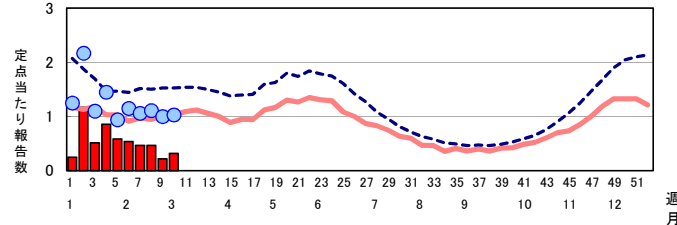
1 感染性胃腸炎



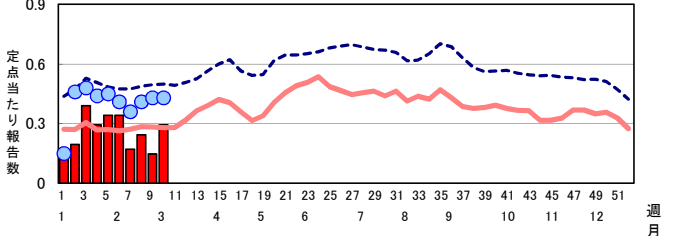
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



3 水痘

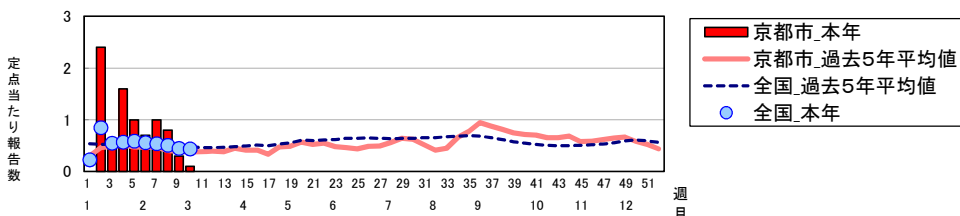


4 突発性発しん



<眼科定点>

流行性角結膜炎



第10週(3月3日～3月9日)トピックス: <インフルエンザ>

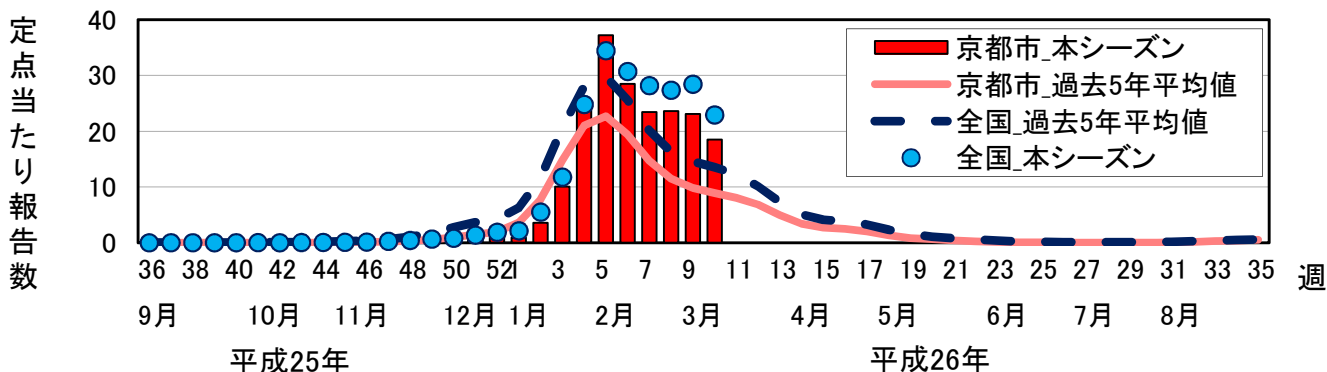
京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は、18.51(1,259例)で、京都市、全国ともに前週より減少していますが、いずれも過去5年平均値を上回っています。

行政区別にみると、11行政区中9行政区で前週よりも減少していますが、すべての行政区において、注意報レベルの「10」を上回っており、同時期の過去5年平均値も上回っています。

京都市衛生環境研究所では、今シーズンに、AH1pdm09が26例、AH3型が3例、B型が22例、分離・検出されています。

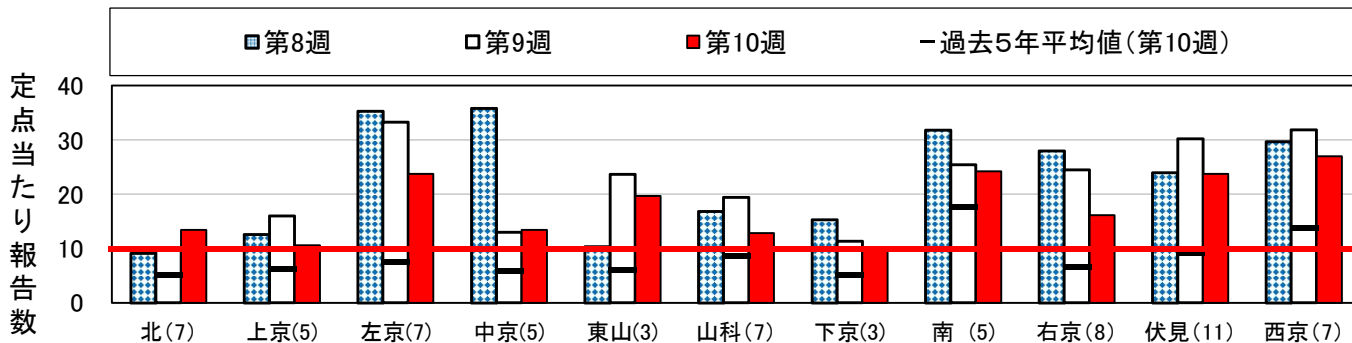
なお、全国のインフルエンザウイルス分離・検出報告数は、AH1pdm09 2,058例(47.1%)、AH3型 1,136例(26.0%)、B型 1,174例(26.9%)となっており、今シーズンは前シーズン、前々シーズンにはほとんど分離・検出されていなかったAH1pdm09が最も多く分離・検出されています。(平成26年3月14日現在)

本市及び全国の定点当たり報告数の推移



* 平成21年/22年シーズンは、インフルエンザ(H1N1)2009の影響で、例年と流行傾向が大きく異なるため、過去5年平均値の算出には使用していません。

本市の行政区別定点当たり報告数の推移



()内は行政区別のインフルエンザ定点医療機関数

* 平成21年/22年シーズンは、インフルエンザ(H1N1)2009の影響で、例年と流行傾向が大きく異なるため、過去5年平均値の算出には使用していません。

シーズン別インフルエンザウイルス分離・検出状況(京都市及び全国)

